

PRESS RELEASE

記者発表資料

大東市ブランドメッセージ
「子育てするなら、大都市よりも大東市。」



大東市

報道関係者 各位

令和6年10月25日

～大東市 × 象印マホービン × 大栄環境～ ステンレスボトル回収による資源循環の実証実験！ 令和6年10月28日(月) 14:45～15:30(6時間目)

大東市では「子育てするなら、大都市よりも大東市。」をブランドメッセージに掲げ、教育環境の充実に力を入れて取り組んでいます。その取り組みの一つとして、この度、教育と環境に関する公民連携の実証実験を行います。

事業概要



ごみの削減に向け、学校と企業が連携し、不用なステンレスボトルをリサイクルする「資源循環モデルの構築」を検討するための実証実験を行います。これまで焼却・埋立されていたステンレスボトルを、プラスチックとステンレスに分別し、各種製品にリサイクルします。学校では回収ボックスを設置するとともに、児童への環境学習の機会を設け、資源循環活動の啓発を行います。この実証実験により、ゴミの削減に取り組むまが環境学習にもつながり、将来的なごみ削減へ繋がっていくという循環型の仕組みになることをめざしています。

学校での取り組みについて

大東市立の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間と関連づけて環境教育を行っています。小学校では「くらしとゴミ」や「くらしを支える水」等で、中学校では「SDGsと関連付けた学習」から、児童・生徒が主体的に社会への参画や関わりについて学ぶ機会を設けています。

これまでの環境教育の取り組みに加えて、市内小・中学校18校に回収ボックスを設置し、家庭で利用していないステンレスボトルを児童・生徒が学校へ持参し、ボックスで回収をします。

また、小学校での委員会活動や、中学校での生徒会活動を通じて、ポスターやチラシ等を児童・生徒が作成することで、児童・生徒の主体的な活動となるようにつなげます。

【取材可能な学校について】

日時 - 令和6年10月28日(月)

6時間目 14:45～15:30

場所 - 大東市立諸福小学校

対象 - 5・6年生による委員会活動

※当日は子どもたちが活動している姿の
撮影や学校長への取材が可能です。

9月には大東中学校
で回収しました！
(↓山田校長先生)



【お問い合わせ先】

◆学校での取り組みについて

○大東市教育委員会事務局 学校教育政策部 指導・人権教育課
担当：白井・村島 TEL：072-870-9104

◆資源循環の実証事業について

○大東市環境室 担当：櫛田 TEL：072-870-9265
○象印マホービン(株) 担当：広報部 TEL：06-6356-2329
○大栄環境(株) 担当：瀧屋 TEL：078-855-8770